

インターネット支店用 キャッシュカード規定

第1条（キャッシュカードの利用）

インターネット支店用普通預金について発行したインターネット支店普通預金キャッシュカード（以下「キャッシュカード」といいます。）は、当該預金口座について、次の場合に利用することができます。なお、このキャッシュカードについては代理人カードの発行はいたしません。

1. 瀬戸信用金庫（以下「当金庫」といいます。）および当金庫がオンライン現金自動預金機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下「預入提携先」といいます。）の現金自動預金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「預金機」といいます。）を使用して普通預金（以下「預金」といいます。）に預入れをする場合。
2. 当金庫および当金庫がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下「支払提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「支払機」といいます。）を使用して預金の払戻しをする場合。
3. 当金庫および支払機提携先のうち当金庫がオンライン現金自動支払機の共同利用による振込業務を提携した金融機関等（以下「振込提携先」といいます。）の自動振込機（振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「振込機」といいます。）を使用して振込資金を預金口座からの振替により払戻し、振込の依頼をする場合。
4. 当金庫の口座振替を行うことができる現金自動預金支払機（以下「振替機」といいます。）を使用して、当金庫所定の口座振替取引をする場合。
5. 当金庫および預入提携先の預入機または支払提携先の支払機を使用して預金の残高照会等、当金庫所定の取引をする場合。
6. このキャッシュカードについてはデビットカードのお取扱いはできません。
7. Pay-easy（ペイジー）、口座振替のお取扱いはできません。

第2条（預金機による預金の預入れ）

1. 預金機を使用して預金に預入れをする場合には、預金機の画面表示等の操作手順に従って、預入機にキャッシュカードを挿入し、現金を投入して操作してください。
2. 預金機による預入れは、預金機の機種により当金庫または預入提携先所定の種類の紙幣および硬貨に限ります。また、1回あたりの預入れは、当金庫または預入提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。

第3条（支払機による預金の払戻し）

1. 支払機を使用して預金の払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に従って、支払機にキャッシュカードを挿入し、届出の暗証番号および金額を正確に入力してください。この場合、払戻請求書の提出は必要ありません。
2. 支払機による払戻しは、支払機の機種により当金庫または支払提携先所定の金額単位とし、1回あたりの払戻しは、当金庫または支払提携先所定の金額の範囲内とします。なお、1日あたりの払戻しは当金庫所定の金額の範囲内とします。
3. 前項にかかわらず、当金庫および支払提携先の支払機による1日あたりの払戻しについて当金庫が本人から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の金額の範囲内とします。ただし、支払提携先の支払機による払戻しの限度額については、その届出の金額以下になる場合があります。
4. 支払機を使用して預金の払戻しをする場合に、払戻請求金額と第5条第2項に規定する自動機利用手数料金額の合計額が払戻すことのできる金額を超えるときは、その払戻しはできません。

第4条（振込機による振込）

1. 振込機を使用して振込資金を預金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に従って、振込機にキャッシュカードを挿入し、届出の暗証番号その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における預金の払戻しについては、払戻請求書の提出は必要ありません。
2. 前項の振込依頼をする場合における1回あたりの振込は、当金庫または振込提携先所定の金額の範囲内とします。なお、1日あたりの振込は当金庫所定の金額の範囲内とします。
3. 前項にかかわらず、第1項の振込依頼をする場合における当金庫および振込提携先の振込機による1日あたりの振込について当金庫が本人から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の金額の範囲内とします。ただし、振込提携先の振込機による振込の限度額については、その届出の金額以下になる場合があります。

第5条（自動機利用手数料）

1. 預金機を使用して預金に預入れをする場合には、当金庫または預入提携先の店頭表示、ウェブサイトの掲載またはその他相当の方法により示された手数料一覧に基づいた預金機の利用に関する手数料をいただきます。
2. 支払機または振込機を使用して預金の払戻しをする場合には、当金庫または支払提携先の店頭表示、ウェブサイトの掲載またはその他相当の方法により示された手数料一覧に基づいた支払機・振込機の利用に関する手数料をいただきます。
3. 自動機利用手数料は、預金の預入れおよび払戻し時に払戻請求書なしで、その預入れ・払戻しをした預金口座から自動的に引落します。なお、預入提携先または支払提携先の自動機利用手数料は、当金庫から預入提携先または支払提携先に支払います。
4. 振込手数料は、振込資金の預金口座からの払戻し時に払戻請求書なしで、その払戻しをした預金口座から自動的に引落します。なお、振込提携先の振込手数料は、当金庫から振込提携先に支払います。

第6条（預金機・支払機・振込機・振替機が故障時の取扱い）

1. 停電、故障等により預金機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当金庫本支店の窓口でキャッシュカードにより預金の預入れをすることができます。
2. 停電、故障等により支払機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当金庫が支払機故障時等の取扱いとして定めた金額を限度として当金庫本支店の窓口でキャッシュカードにより預金の払戻しをすることができます。
3. 前記第1項、第2項による預入れまたは払戻しをする場合には、キャッシュカードを提出し、当金庫所定の入金票にキャッシュカードの口座番号、氏名、金額を記入のうえ、または当金庫所定の払戻請求書にキャッシュカードの口座番号、氏名、金額その他の必要事項を記入のうえ、当金庫所定の手続に従ってください。この場合、払戻請求書に住所、電話番号等の記入を求めることがあります。
4. 停電、故障等により振込機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、前記第2項によるほか振込依頼書を提出することにより振込の依頼をすることができます。
5. 停電、故障等により振込機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当金庫本支店の窓口で、前記第2項によるほか当金庫所定の手続きに従って口座振替取引をすることができます。

第7条（キャッシュカード・暗証番号の管理等）

1. 当金庫は、支払機、振込機または振替機の操作の際に使用されたキャッシュカードが、当金庫が本人に交付したキャッシュカードであること、および入力された暗証番号と届出の暗証番号とが一致することを当金庫所定の方法により確認のうえ預金の払戻しを行います。当金庫の窓口においても同様にキャッシュカードを確認し、払戻請求書、諸届その他の書類に使用された暗証番号と届出の暗証番号との一致を確認のうえ取扱いをいたします。
2. キャッシュカードは他人に使用されないよう保管してください。暗証番号は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。キャッシュカードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、速やかに預金者ご本人から当金庫に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにキャッシュカードによる預金の払戻し停止の措置を講じます。
3. キャッシュカードの盗難にあった場合には、当金庫所定の届出書を当金庫に提出してください。

第8条（偽造キャッシュカードによる払戻し等）

当金庫がインターネット支店（以下「当支店」といいます。）のお客様に発行したキャッシュカードが偽造または変造により不正使用され生じた払戻しについては、本人の故意による場合または当該払戻しについて当金庫が善意かつ無過失であって本人に重大な過失があることを当金庫が証明した場合を除き、その効力を生じないものとします。この場合、本人は、当金庫所定の書類を提出し、キャッシュカードおよび暗証番号の管理状況、被害状況、警察への通知状況等について当金庫の調査に協力するものとします。

第9条（盗難キャッシュカードによる払戻し等）

当金庫が当支店のお客様に発行したキャッシュカードが盗難されたことにより不正使用され生じた払戻しについては、次の各号により取扱います。

1. 当該払戻しについては、次のすべてに該当する場合、本人は当金庫に対して当該払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額の補てんを請求することができます。
 - （1）キャッシュカードの盗難に気づいてから速やかに、当金庫への通知が行われていること。
 - （2）当金庫の調査に対し、本人より十分な説明が行われていること。
 - （3）当金庫に対し、警察署に被害届を提出していることその他の盗難にあったことが推測される事実を確認できるものを示していること。
2. 前号の請求がなされた場合、当該払戻しが本人の故意による場合を除き、当金庫は、当金庫へ通知が行われた日の30日（ただし、当金庫に通知することができないやむを得ない事情があることを本人が証明した場合は、30日にその事情が継続している期間を加えた日数とします。）前の日以降になされた払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額（以下「補てん対象額」といいます。）を補てんするものとします。ただし、当該払戻しが行われたことについて、当金庫が善意かつ無過失であり、かつ、本人に過失があることを当金庫が証明した場合には、当金庫は補てん対象額の4分の3に相当する金額を補てんするものとします。
3. 前2号の規定は、第1号にかかる当金庫への通知が、盗難が行われた日（当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難キャッシュカード等を用いて行われた不正な預金払戻しが最初に行われた日。）から、2年を経過する日以後に行われた場合には、適用されないものとします。
4. 第2号の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当金庫が証明した場合には、当金庫は補てん責任を負いません。
 - （1）当該払戻しが行われたことについて当金庫が善意かつ無過失であり、かつ、次のいずれかに該当する場合。
 - ①本人に重大な過失があることを当金庫が証明した場合。

②本人の配偶者、二親等内の親族、同居の親族、その他の同居人、または家事使用人（家事全般を行っている家政婦など。）によって行われた場合。

③本人が被害状況についての当金庫に対する説明において、重要な事項について偽りの説明を行った場合。

(2) 戦争、暴動等による著しい社会秩序の混乱に乘じ、またはこれに付随しキャッシュカードが盗難にあった場合。

第10条（キャッシュカードの紛失、届出事項の変更等）

キャッシュカードを紛失した場合、または氏名、暗証番号その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに本人から当金庫所定の方法により当金庫に届出てください。

第11条（キャッシュカードの再発行等）

1. キャッシュカードの盗難、紛失等の場合のキャッシュカードの再発行は、当金庫所定の手続が完了次第行います。この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。
2. キャッシュカードを再発行する場合には、当金庫所定の再発行手数料をいただきます。

第12条（預金機・支払機・振込機・振替機への誤入力等）

1. 預金機・支払機・振込機・振替機の使用に際し、金額等の誤入力により発生した損害については、当金庫は責任を負いません。なお、預入提携先の預金機、支払提携先の支払機、振込提携先の振込機を使用した場合の預入提携先、支払提携先または振込提携先の責任についても同様とします。
2. キャッシュカードによる窓口での預金の預入れまたは払戻しをする際に、当金庫所定の入金票または払戻請求書への金額等の誤記入により発生した損害については、当金庫は責任を負いません。

第13条（キャッシュカードの利用停止等）

1. 当金庫は、お客様の情報および具体的な取引の内容等を適切に把握するため、提出期限を指定して各種確認や資料の提出を求めることがあります。お客さまから正当な理由なく指定した期限までに回答いただけない場合には、カードの利用を停止する場合があります。
2. 前項の各種確認や資料の提出の求めに対するお客さまの回答、具体的な取引の内容、お客さまの説明内容およびその他の事情を考慮して、当金庫がマネー・ローンダリング、テロ資金供与、もしくは経済制裁関係法令等への抵触のおそれがあると判断した場合には、カードの利用を停止する場合があります。
3. 前2項に定めるカードの利用停止についても、お客さまからの説明等にもとづき、マネー・ローンダリング、テロ資金供与、または経済制裁関係法令等への抵触のおそれが合理的に解消されたと当金庫が認める場合、当金庫はカードの利用を解除します。
4. 前1、2項のほか、次の場合には、キャッシュカードの利用を停止することがあります。この場合、当金庫の窓口において当金庫所定の本人確認書類の提示を受け、当金庫が本人であることを確認できたときに停止を解除します。
 - (1) 第17条に定める規定に違反した場合。
 - (2) 預金口座に関し、最終の預入れまたは払戻しから当金庫が別途表示する一定の期間が経過した場合。
 - (3) キャッシュカードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当金庫が判断した場合。

第14条（解約等）

-
1. 預金口座を解約する場合、またはキャッシュカードの利用を取りやめる場合には、テレホンサービスにより届出てください。なお、未処理取引のある場合は、その処理が終了するまで解約を延期させていただきます場合があります。
 2. キャッシュカードの改ざん、不正使用など当金庫がキャッシュカードの利用を不相当と認めた場合、またはこのキャッシュカードがマネーローンダリング、テロ資金供与、または経済制裁関係法令等への抵触する取引に利用され、またはそのおそれがあると合理的に認められる場合には、その利用をお断りすることがあります。

第15条（振替機による口座振替）

振替機を使用して振替資金を当該口座から振替により払戻し、当金庫所定の口座振替取引をする場合には、振替機の画面表示等の操作手順に従って、振替機にカードを挿入し、届出の暗証番号その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における預金の払戻しについての払戻請求書の提出は必要ありません。

第16条（暗証番号の変更）

預金機、支払機を使用して暗証番号を変更する場合には、預金機、支払機の画面表示等の操作手順に従って、預金機、支払機にカードを挿入し、届出の暗証番号その他所定の事項を正確に入力してください。この場合「カード新規・変更・再発行・解約届」の書類を提出する必要はありません。

第17条（譲渡、質入れ等の禁止）

キャッシュカードは譲渡、質入れまたは貸与することはできません。

第18条（規定の準用）

この規定に定めのない事項については、インターネット支店用普通預金規定および振込規定により取扱います。

第19条（規定の変更）

1. この規定の各条項その他条件は金融情勢その他の変化その他相当の事由があると認められる場合には、店頭表示、ウェブサイトの掲載による公表その他相当の方法で公表することにより、変更することができるものとします。
2. 前項の変更は、公表等の際に定める相当の期間を経過した日から適用されるものとします。

第20条（情報管理の委託ならびに承認）

お客様がキャッシュカードをご利用になるとき、お客様はそのサービス提供に必要なお客様の情報を、提携先に提供することを承認されたものとして取扱います。

以上

令和2年4月1日現在